

# 令和6年度秋田支部保険者機能強化予算

秋田支部保険者機能強化予算（案）

予算区分		支部予算枠	予算枠の算出基準
支部医療費適正化等予算	①医療費適正化対策経費	10,156千円	全体予算8億円を全支部一律に定額部分600万円を設定したうえで、残りを加入者数で按分し加算し、効率化分（3%）を差し引いた額
	②広報・意見発信経費		
	⑧特別枠	2,510千円	全体予算2億円と各支部の前年度予算枠から3%効率化した0.24億円を合わせた金額から加入者按分案分した額
支部保健事業予算	③健診経費	37,007千円	全体予算40億円を40歳以上の加入者数で按分した上で、効率化分（3%）を差し引いた額
	④保健指導経費		
	⑤重症化予防事業経費		
	⑥コラボヘルス事業経費		
	⑦その他の経費		
	⑧特別枠	9,150千円	各支部の前年度予算枠から3%効率化した金額を加入者数で按分した額

**特別枠予算**

支部保険者機能強化予算の取組に意欲的な支部に対し、通常の予算に追加して予算措置を行うものエビデンスを踏まえた自支部の課題解決に向けた取組であり、かつ医療費適正化または加入者の健康増進に資する取組を対象とする基準額はあくまでも目安であり、基準額以上の予算要求自体に制限は設けない

秋田支部医療費適正化等予算（案）

千円未満切り上げ

区分		新規 継続	取組名	予算額	備考
① 医療費適正化対策経費	企画部門関係	継続	WEB広告による医療費適正化広報	1,488千円	加入者へWEB広告やランディングページを活用した医療費適正化に関する広報
		継続	フリーペーパーを利用した、医療費適正化に関する広報（時間外受診等）	495千円	子育て情報誌等への記事や広告の掲載
	小計			1,984千円	
② 広報・意見発信経費	紙媒体による 広報	継続	納入告知書同封広報紙、総合パンフレット等の作成	1,692千円	「健康保険あきた」等事業所向けの定期発行物や健康保険制度や手続きについてのパンフレットを作成
		継続	任意継続・療養費(治療用装具)用郵送申請セットの作成	242千円	協会窓口での申請で多い申請書について、簡単に郵送で申請できるようセット化したものを作成し、医療機関等に配布
	その他の広報	継続	メールマガジンの魅力向上に向けたランディングページ等の作成	2,576千円	メールマガジンの登録につながるような特設サイトの作成（6回分）
		継続	支部ホームページ掲載コンテンツを活用した広報事業	1,787千円	健康コラムやレシピを作成しホームページに掲載し、メールマガジンや紙媒体の広報誌等でも活用する
		継続	作成済み素材を活用した各種広報（バスラッピング、ポスター2種、動画等）	1,837千円	これまで作成した広報素材を有効活用し、支部の認知度アップを図る
	小計			8,136千円	
合計				10,120千円	

秋田支部保健事業予算（案）

千円未満切り上げ

区分	新規 継続	取組名	予算額	備考
③健診経費	継続	健診実施機関における健診実施件数増に対するインセンティブ	3,520千円	健診推進費より健診実施数増加に対する金銭的インセンティブを予定
	継続	生活習慣病予防健診および特定健診の支部独自健診案内	1,204千円	健診について年次案内のため各種広報物の作成
	新規	年次健診案内送付前の健診案内送付による受診勧奨	627千円	生活習慣病予防検診対象事業所に向け、年次の健診案内が届く前に、予約方法等を記載した案内文書を送付する
	継続	同意書の取得および事業者健診結果データの取得	5,261千円	アウトソーシングにより、事業者健診にかかる同意書の取得及び健診結果データの取得
	継続	被扶養者を対象とした協会けんぽ主催の無料の集団健診	2,311千円	受診機会の増加を図り、健診実施数の増加を目指し、協会けんぽ主催により集団健診を実施する
	継続	市町村集団健診への特定健診受診勧奨	844千円	市町村の集団健診の日程チラシを作成し、直前に通知予定
	継続	特定健診未受診者に対する受診勧奨	1,386千円	未受診者（被扶養者）に対して、文書による受診勧奨を実施
	継続	40歳到達の女性被扶養者への健診受診勧奨	347千円	令和6年度に40歳を迎える女性被扶養者に対し、受診券の送付予告及び受診勧奨を行う
	新規	事業所への特定健診受診勧奨	211千円	被扶養者の健診補助があることを説明した案内文書を事業所へ送付する
	継続	その他事務経費	613千円	健診実施機関実地調査時の交通費等
	小 計			16,327千円
④保健指導経費	継続	中間評価時の血液検査費	495千円	特定保健指導実施機関における特定保健指導で、中間評価のために実施する血液検査の費用
	継続	保健指導用パンフレット作成等	700千円	保健指導に活用するパンフレットを支部独自に作成、購入
	継続	特定保健指導の実施率の向上	1,720千円	保健指導利用を事業所等奨励するための費用
	継続	その他事務経費	643千円	公民館等での保健指導時の会場賃借料や測定用機器の購入費等
	小 計			3,558千円
⑤重症化予防 事業経費	継続	未治療者に対する受診勧奨	6,475千円	アウトソーシングの委託数増加見込み
	継続	糖尿病性腎症患者の重症化予防対策	72千円	医療機関と連携した糖尿病性腎症の患者に対する保健指導にかかる交通費
	小 計			6,548千円

秋田支部保健事業予算（案）

千円未満切り上げ

区分	新規 継続	取組名	予算額	備考
⑥コラボヘルス事業経費	継続	健康経営宣言事業所等の宣言取組み支援	3,246千円	健康経営宣言事業所向けに健康に関する各種資料の作成・配布。宣言内容の見直し等フォロー業務(DVD貸し出しなど)
	継続	運輸業団体と連携したコラボヘルス	536千円	運輸業団体と共同で広報誌「ニュースター」を作成・配布
	小 計		3,783千円	
⑦その他の経費	継続	地方自治体等と連携した健康づくりイベントによる啓発事業	654千円	自治体、医療関係団体と共同で開催する健康づくりイベントにてブース出展（コロナウイルス感染症の感染状況考慮の上実施）
	継続	受動喫煙防止啓発による禁煙促進事業	2,469千円	秋田市母子手帳別冊への広告・秋田市を対象にした三次喫煙防止ポスター・ステッカーを用いた事業展開
	継続	歯と口腔の健康づくり事業	778千円	歯科健診により糖尿病等生活習慣病との関連がある歯周病を予防
	継続	健康リスク抑制にかかる秋田大学との共同研究	1,182千円	秋田大学との共同研究や運輸業に対する健康リスクにかかる費用
	新規	カリウム摂取啓発ポスターの作成	733千円	摂取した塩分を排出するという観点から排出するために必要な「カリウム」を含んだ食品を摂取することを啓発するポスターの作成
	小 計		5,820千円	
合 計			36,036千円	

## 秋田支部特別枠予算（案）

千円未満切り上げ

区分	新規 継続	取組名	予算額	備考
⑧特別枠	新規	業種や地域を絞った受動喫煙対策	1,676千円	業種(建設業など)や地域(秋田市など)の対象を絞り、令和5年度に作成したポスター・ステッカーやWeb広告を用い、啓発活動を行う。
	新規	関係団体と連携した集団健診	4,743千円	協定締結等により構築した関係団体とのネットワークを活用して、健診の実施枠が確保されていないと思われる自治体や団体と連携して集合健診を行う。
	継続	ターゲットを絞った減塩啓発事業	4,713千円	令和5年度に実施した塩分摂取量調査結果をもとに、20代～30代(男性・女性)、40代～50代(男性のみ)に対しアプローチする年代に応じて周知する内容を変えながら、WEB等による広報を実施する。
合 計			11,134千円	

分野		支部医療費適正化等予算			
区分	①医療費適正化対策経費		②広報・意見発信経費		
事業名	①-1 WEB広告による医療費適正化広報	①-2 フリーペーパーを利用した、医療費適正化に関する広報（時間外受診等）	②-1 納入告知書同封広報紙、総合パンフレット等の作成	②-2任意継続申請・療養費（治療用装具）申請書セットの作成	
区分 (新規・継続)	継続	継続	継続	継続	
事業目的	医療費適正化に関する周知広報	時間外受診の抑制による医療費適正化	事業に関するお知らせや制度全般に関する周知広報	退職後の任意継続保険証の資格取得申請・療養費（治療用装具）申請の郵送化促進	
事業概要	時間外受診やジェネリック医薬品などの医療費適正化にかかるWEBバナーを作成。広告による啓発広報を実施。	秋田市周辺を対象に、子育て情報誌（ママファミ）や秋田市内に配布されるフリーペーパーを利用した広報を行う。	・日本年金機構が事業所に毎月送付する保険料納入告知書に支部広報紙「健康保険あきた」を同封してもらう。  ・協会けんぽの事業を広く知ってもらうため、総合パンフレット「健康保険はわかりガイド」を作成し、新規適用事業所を中心に配布する。	それぞれの制度利用促進、申請の郵送化率向上を図るため、申請書と返信用封筒が同封された申請書セットを作成、配布する。	
実施時期	6月～2月	通年	通年	通年	
経費	1,488千円	495千円	1,692千円	242千円	

分野	支部医療費適正化等予算		
区分	②広報・意見発信経費		
事業名	②-3 メールマガジンの魅力向上に向けたランディングページ等の作成	②-4 支部ホームページ掲載コンテンツを活用した広報事業	②-5 作成済み素材を活用した各種広報（バスのラッピング、ポスター2種、動画等）
区分 (新規・継続)	継続	継続	継続
事業目的	メールマガジンの登録者数および開封率の向上	秋田支部ホームページ掲載コンテンツの充実及び加入者のヘルスリテラシーの向上	健診受診率の向上、喫煙率の減少、塩分摂取量の減少、運動回数の増加によりヘルスリテラシーの向上
事業概要	各種広報誌やメルマガ会員募集チラシなどに特設コーナーを作成。また、メールマガジン登録ページへ誘導する二次元バーコード付き広報などを行い、会員以外の方にも目に触れる機会を創出する。	健康コラムやレシピを制作し、掲載した内容は、メールマガジンや紙媒体広報においても活用し、加入者のヘルスリテラシー向上を図る。	令和5年度までに秋田支部で作成した各種広報素材を活用した広報を展開。
実施時期	通年	通年	通年
経費	2,576千円	1,787千円	1,837千円



分野	支部保健事業予算		
区分	③健診経費		
事業名	③-1 健診実施機関における健診実施件数増に対するインセンティブ	③-2 生活習慣病予防健診および特定健診の支部独自健診案内	③-3 年次勧奨案内送付前の健診案内送付による受診勧奨
区分 (新規・継続)	継続	継続	新規
事業目的	生活習慣病予防健診受診率の向上	生活習慣病予防健診および特定健診受診率の向上	生活習慣病予防健診受診率の向上
事業概要	生活習慣病予防健診の実施機関に対し、健診実施数増加に対する金銭的インセンティブの実施する。	生活習慣病予防健診等一斉発送のご案内の他に、県内独自の事情周知や、健診情報を効果的に発信するための支部独自印刷物を同封し、受診勧奨を行う。	健診予約が始まる前に、予約方法等を記載した受診勧奨案内文書を事業所に送付し、受診行動を促進する。
実施時期	通年	一斉発送時から通年	11月～12月
経費	3,520千円	1,204千円	627千円

分野	支部保健事業予算		
区分	③健診経費		
事業名	③-4 同意書の取得および事業者健診結果データの取得	③-5 被扶養者を対象とした協会けんぽ主催の無料の集団健診	③-6 市町村集団健診への特定健診受診勧奨
区分 (新規・継続)	継続	継続	継続
事業目的	同意書および事業者健診結果データの取得	特定健診受診率の向上	特定健診受診率の向上
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働安全衛生法に基づく定期健康診断について、県内で最も多く実施している秋田県総合保健事業団が事業所へ送付する健診のパンフレットに同意書の提出勧奨文書等を同封。</li> <li>・外部委託により同意書および結果データを取得する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被扶養者を対象に、地域の公共施設や商業施設で無料の集合型健診を開催し、対象者宛に直接ダイレクトメールを送り、受診勧奨を行う。</li> <li>・健診実施機関については、公募による企画競争（企画書提出）を行い、魅力的な健診実施体制を構築できる（加点要素の高い）健診機関を選定する。</li> </ul>	協定を締結している大仙市との共同事業として、公民館等で実施している大仙市の集団健診について、加入者の自宅付近の会場、日程をダイレクトメールにて広報を行う。
実施時期	通年	8月～2月	4月～10月
経費	5,261千円	2,311千円	844千円

分野	支部保健事業予算		
区分	③健診経費		
事業名	③-7 特定健診未受診者に対する受診勧奨	③-8 40歳到達の女性被扶養者への健診受診勧奨	③-9 事業所への特定健診受診勧奨
区分 (新規・継続)	継続	継続	新規
事業目的	特定健診受診率の向上	特定健診受診率の向上	特定健診受診率の向上
事業概要	特定健診未受診者に受診勧奨や事業者健診結果データ提出勧奨にかかるダイレクトメールを送付する。	令和6年度に40歳を迎える女性被扶養者に対し、乳がん自己検査グローブを同封し、特定健診・がん検診の受診勧奨および受診券の送付を予告する。また、受診勧奨を行う。	被扶養者の健診補助があることを被保険者から被扶養者に伝えていただく観点から、事業所に対し働きかけを行う。
実施時期	7月、1～2月	6月、12月	6月、12月
経費	1,386千円	347千円	211千円

分野	支部保健事業予算		
区分	④保健指導経費		
事業名	④-1 中間評価時の血液検査費	④-2 保健指導用パンフレット作成等	④-3 特定保健指導の実施率の向上
区分 (新規・継続)	継続	継続	継続
事業目的	保健指導利用者の食生活や運動等生活習慣改善努力の効果測定	保健指導時の活用	特定保健指導の新規開拓および終了者数の向上
事業概要	秋田支部の保健師・管理栄養士または受託機関が実施する特定保健指導の利用者において、生活習慣改善努力の効果測定を希望する者に対し血液検査を実施	保健指導時に全支部一括で使用するパンフレット以外に、支部独自でポピュレーションアプローチ及びハイリスクアプローチに活用する食生活(減塩・カリウムを含む野菜・外食・間食等)、運動、たばこ、高血圧症、糖尿病、脂質、メンタルヘルス等に関連した題材のパンフレットを作成及び購入	特定保健指導の終了者に対してナッジ理論を活用した文書を送付し、次年度も特定保健指導の対象者に該当しないよう勧奨を実施  共同利用や訪問案内発送等の際に支部独自印刷物を同封  集合健診を受診した被扶養者に対して、健診結果説明会の場を活用した特定保健指導を実施
実施時期	通年	通年	通年
経費	495千円	700千円	1,720千円

分野	支部保健事業予算	
区分	⑤重症化予防事業経費	
事業名	⑤-1 未治療者に対する受診勧奨	⑤-2 糖尿病性腎症患者の重症化予防対策
区分 (新規・継続)	継続	継続
事業目的	未治療者の医療機関受診率の向上	糖尿病性腎症患者に対する重症化予防、QOLの向上、医療費適正化
事業概要	<p>健診受診当日、血圧高値者に対し、実施機関から受診勧奨チラシを配布（当日配布が実施不可能な場合は結果とともに配布）</p> <p>健診結果が再検査（血圧や血糖、脂質等が高値）となった方に対して、重症化する前に医療機関を受診するよう電話や文書により勧奨を行う。電話勧奨については外部委託を実施</p>	<p>大館市立総合病院の医師より紹介を受けた協会けんぽ加入の糖尿病性腎症患者に対し、外来終了後、院内管理栄養士と協会けんぽ所属の秋田県糖尿病療養指導士の資格を有した保健師・管理栄養士が訪問・電話・文書等の保健指導を実施</p>
実施時期	通年	通年
経費	6,475千円	72千円

分野		支部保健事業予算	
区分	⑥コラボヘルス事業経費		
事業名	⑥-1 健康経営宣言事業所等の宣言取組み支援	⑥-2 運輸業団体と連携したコラボヘルス	
区分 (新規・継続)	継続		継続
事業目的	健康経営宣言の取組みに対する支援、健康経営の推進	運輸業団体と連携した事業所における健康づくりの推進、健康経営宣言の普及	
事業概要	<p>健康経営宣言して健康づくりに取り組んでいる事業所担当者の方から、「健康づくりに取り組むための啓発資料がほしい」、「他の事業所の取組み事例を知りたい」などの声が多数聞かれることから、健康づくりに関する資料の配布等を実施</p> <p>宣言事業所の取組の質向上を図るため、訪問・文書等によるフォローを実施</p>	<p>業種別にみると運輸業の健康リスクが特に高いことに着目し、協定締結先である秋田運輸支局・バス協会・トラック協会・ハイヤー協会と協力連携して、運輸業界に特化した広報紙「ニュースレター」を作成・配布するとともに、運輸業界における健康経営宣言の普及を図る</p>	
実施時期	通年		6月、9月、12月、3月
経費	3,246千円		536千円

分野	支部保健事業予算				
区分	⑦その他の経費				
事業名	⑦-1 地方自治体等と連携した健康づくりイベントによる啓発事業	⑦-2 受動喫煙防止啓発による禁煙促進事業	⑦-3 歯と口腔の健康づくり事業	⑦-4 健康リスク抑制にかかる秋田大学との共同研究	⑦-5 カリウム摂取啓発ポスターの作成
区分 (新規・継続)	継続	継続	継続	継続	新規
事業目的	加入者の健康づくり啓発及び関係機関との連携強化	喫煙者の減少	歯周病、糖尿病等の予防	被保険者の将来の健康リスクの抑制	職場の健康づくり啓発
事業概要	<p>自治体や関係団体と連携した事業を展開する。</p> <p>①秋田市と共同で健康フォーラムを開催 ②秋田県と共同で受動喫煙防止フォーラムを開催 ③関係団体と連携して、イベント等でのブース出展や広報物の配布 ④能代市や関係団体と連携して、ブース出展や広報物を配布 ⑤大館市や関係団体と連携して、ブース出展や広報物を配布 ⑥美郷町と連携して、ブース出展や広報物を配布</p>	<p>受動喫煙などの喫煙による害の啓発や受動喫煙防止施設の登録拡大に取り組む。</p> <p>①母子手帳等への受動喫煙の害についての広告掲載 ②子どもを介した親への啓発を行うため、部活動をしている中学生を対象に配布される体育協会発行広報誌へ広告を掲載 ③県と共同で実施している受動喫煙防止施設登録認定事業で、事業所に受動喫煙防止宣言ミニのぼりを配布 ④令和5年度特別枠事業で秋田市を対象を絞り作成した「三次喫煙防止ポスター・ステッカー」を県内全域へ広げる事業</p>	<p>秋田県歯科医師会、秋田県口腔支援センターと連携し、歯周病と糖尿病に関する啓発活動と歯科健診、歯科に関する保健指導を実施</p>	<p>生活習慣病リスク保有割合が高い要因を教育研究機関と共同研究を実施</p> <p>トラックドライバーを対象に栄養調査を実施し、栄養バランスのフィードバックを行うことで介入調査を実施</p>	<p>塩分の取りすぎに配慮した食事を推進するため、「塩分摂取を減らす」から「取りすぎた塩分を排出する」という観点から、その役割を果たす『カリウム』に着目。塩分を取りすぎたときはカリウムを多く含む食品も同時に食べようといったポスターを作成し、減塩の啓発を行う事業</p>
実施時期	上記①10月 ②6月・11月 ③3月・④7月 ⑤7月・⑥10月	①4月、②4月、9月 ③通年、④9月	6～3月	通年	通年
経費	654千円	2,469千円	778千円	1,182千円	733千円

## 支部保険事業予算

分野 ( )	支部保険事業予算		
区 分	⑧特別枠		
事業名	⑧-1 業種や地域を絞った受動喫煙対策	⑧-2 関係団体と連携した集団健診	⑧-3 ターゲットを絞った減塩啓発事業
区 分 (新規・継続)	新規	新規	継続
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙者の減少</li> <li>・受動喫煙防止</li> <li>・秋田県と共同している</li> </ul> 「受動喫煙防止宣言施設」登録数の増加	生活習慣病予防健診実施率の向上 特定保健指導数の増加	血圧リスク保有者の減少
事業概要	業種や市町村を対象を絞り、今年度までに作成したポスター・ステッカーの配布や、WEB広告等を活用した直接加入者にアプローチできる媒体を活用し、啓発する事業	健診の実施枠が確保されていないと思われる自治体や団体と連携して集合健診を行う。実施にあたり、生活習慣病予防健診未受診者の状況や健診を受診する際に利便性の高い施設等について関係団体にヒアリングを行い、実施率の向上を図る。	令和5年度に実施した塩分摂取量調査結果をもとに、20代～30代(男性・女性)、40代～50代(男性のみ)に対しアプローチする年代に応じて周知する内容を変えながら、WEB等による広報を実施する。
実施時期	6～12月	通年	通年
経費	1,676千円	4,743千円	4,713千円